

平成 28 年度 記者懇談会（第 4 回）の記録

- 日 時 平成 28 年 7 月 29 日（金）午後 3 時 30 分
場 所 水道庁舎 4 階 会議室
記者数 7 人
同席者 阿部副市長、天野副市長、総務部長、経済部長、福祉課長
次 第 1 臨時福祉給付金及び年金生活者等支援臨時福祉給付金（障害・遺族基礎年金受給者向け）について
2 ビッセマルシェ岩見沢フェアについて
3 北海道そらちグルメファンド 2016 について
4 その他について



1 臨時福祉給付金及び年金生活者等支援臨時福祉給付金（障害・遺族基礎年金受給者向け）について

説明内容

（市長）

平成 26 年 4 月から消費税率が 8%に引き上げられたことに伴いまして、所得の低い方の負担を緩和するための臨時的な措置ということで、平成 26、27 年度に引き続き、平成 28 年度も「臨時福祉給付金」を支給するということになっております。

また、「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得の障害・遺族基礎年金受給者の方を支援するための、「障害・遺族基礎年金受給者向け給付金」を併せて支給することとなりました。これまで、準備を進めてきたところですが、8 月 27 日から申請受付が始まりますので、お知らせをさせていただきたいと思っております。

概要につきましては、資料に記載のとおりでございますが、この実施主体は「市町村」でございます。全額が国庫補助の事業となります。

まず、「臨時福祉給付金」でございますが、平成 28 年 1 月 1 日時点で岩見沢市の住民基本台帳に登録されている「平成 28 年度市民税均等割が課税されない方」が対象となっております。支給額は、対象者 1 人につき「3,000 円」で、対象となる方は、予算では「20,000 人」を予定しているところでございます。

次に、「障害・遺族基礎年金受給者向け給付金」でございますが、「臨時福祉給付金」の対象者のうち、障害基礎年金・遺族基礎年金の平成 28 年 5 月分の受給がある方が対象となっております。支給額は、対象者 1 人につき「30,000 円」で、対象となる方は、予算では「1,400 人」を見込んでいるところでございます。

この 2 つの給付金のうち、どちらにも該当する場合、両方の給付金を受けることができますが、5 月から申請を受け付けております「高齢者向け給付金」を受給された方は、「障害・遺族基礎年金受給者向け給付金」は支給対象外となっております。

市民の皆さまには、広報 8 月号やホームページで、制度の概要や申請方法などをお知らせすると共に、公共施設にポスターを掲示するなど、周知を図ってまいります。市では、8 月下旬に「対象と見込まれる世帯」に対しまして、案内文・申請書・返信用封筒などを郵送する予定としております。

申請は郵送によって行っていただくことができるわけでもございますが、市の窓口でも受付窓口を開設することといたしました。

申請受付期間は、8 月 27 日から来年、平成 29 年 2 月 24 日までの約 6 か月間でありまして、受付初日の 8 月 27 日と翌 28 日の土日には、市役所本庁、北村支所、栗沢支所、コミュニティプラザ、幌向総合コミュニティセンターの 5 か所に特設窓口を設けることといたしました。

また、8月29日以降は、市役所本庁、北村栗沢両支所と、「有明交流プラザ、朝日、幌向、美流渡」の4か所のサービスセンターの、合計7か所で受付業務を行ってまいります。

以上でございます。

質疑応答

なし

2 ビッセマルシェ岩見沢フェアについて

説明内容

(市長)

それでは、札幌中心部にあります「大通ビッセ」を会場に今日からスタートした、「ビッセマルシェ岩見沢フェア」についてご説明をさせていただきたいと思っております。

この件については、既に担当課からプレスリリースしておりますが、改めて私の方からお話させていただきたいと思っております。

このフェアは、岩見沢産の農産物や加工品のPR、そして販売促進、観光のPRなどを目的に実施をするものでございますが、北洋銀行の本店ビルであります北洋大通センターの商業施設「大通ビッセ」の集客力を活用しまして、1か月間のロングランで岩見沢のPRを行おうとするものでございます。

詳細はお配りした資料にございますが、今日7月29日から8月28日の日曜日までの1か月間、ビッセ内の飲食店9店舗、スイーツ店6店舗におきまして、岩見沢産の素材を使用したメニューを提供するほか、地下歩行空間のスペースを活用いたしまして、農産物や農産加工品、特産品の販売などを行いたいと思っております。

北洋銀行のご協力をいただき、岩見沢市では農政部と経済部、さらにはJAいわみざわ、岩見沢市農産物消費拡大推進協議会などが協力をして実施いたしますが、大きな集客力のある施設でございますので、当市の農業や観光に関するPRを積極的にできるよう取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

質疑応答

(北海道新聞)

ビッセには直接関係ないのですが、こないだ行われた「DO-BOX」が行われまして、去年やっていたアンテナショップを今年は止めるということで、発信の方法をこれから考えていくということだったと思うのですが、これが一つかなと思っているのですが、今後はどのようにアピールしていくのか、発信について今の考えをお聞かせください。

(市長)

3月まで白石区にありますアンテナショップでいろいろ特産品、あるいは農産物の販売とあわせてPR事業を行ってきたところでございますが、3年を区切りとして拠点廃止をして、その分市内の中心部でのサテライト型のイベント型のPRに努めようとしたところでございます。今年は特に北海道新聞さんのご協力をいただきまして「D O - B O X」を昨日と一昨日の2日間、農産物の販売等とPRを行いまして、お陰様で北海道新聞さんの役員さんもお越しいただくなど大変なご支援を賜りまして、たしか2日間で60万円を超える売上げがあったとお聞きをしております。平日ということだったんですけれども、それぞれ来られたお客様も初日が270人、2日目が450人ということでございまして、そういった取り組みを重ねていくということと、今回の1か月間のロングランのPRをしていただくということで、特に大通りビッセということで、非常に魅力の高い商業施設でございますし、そこで岩見沢産のものを買うだけではなくて実際に食べていただける、シェフの方が作ったものなんですけれども。そういった取り組みをいろいろな機会を見つけてやっていくことで、少しでも知名度を上げていくことが何よりも必要かなと考えております。あわせて観光等々のPR、魅力アップということになるのかなと思います。最終的にはそういったことが岩見沢に来られる方につなげていけるようなそういった取り組みにもしていきたいと考えております。

(北海道新聞)

またアンテナショップみたいなという思いはございますか。

(市長)

今はこういったサテライト型のイベントをしっかりとやっていくということで、固定型の店舗については3年間検証しましたので、最後まで苦戦はしたんですが、当初は本当に苦戦をしたんですけれども、売上げは3年目はようやく1千万円を超えるという状況にもなりましたけれども、どちらかというところの多いところに出向いていくというような形を今後はしばらく継続してやっていきたいと思っております。それから大通りのビアガーデンとかも札幌ビールさんのご協力でいろいろ出させていただいておりますし、代々木の北海道フェアに今年行けば3年目になるのかな、代々木公園の北海道一大物産展で屋外ですけれども、首都圏でのPRにも努めていきたいと思っております。

3 北海道そらちグルメファンド2016について

説明内容

(市長)

それでは「北海道そらちグルメファンド2016」でございます。今年で3回目でございます。

今年のグルメファンドは、8月21日の日曜日、いわみざわ公園の野外音楽堂キタオンのステージをスタート・ゴールの発着にいたします。

コースは、昨年は南空知の南側を中心に周ったわけですが、今年はキタオンから出発いたしまして、三笠、美唄、月形などを經由する、距離も延びて 120 km コースと、三笠、美唄を經由いたします 60 km コースの 2 コースで開催いたします。川、沼、ため池のそれぞれの近くを巡る「水」をテーマとしたコース設定としたところでございます。

主催は、北海道そらちグルメファンド実行委員会でございますが、岩見沢市のほか、美唄市、由仁町、長沼町、栗山町、月形町、岩見沢市観光協会などで実行委員会を構成をいたしまして、大会長は私ということでございます。

また、大会の運営に当たりましては、昨年同様、陸上自衛隊岩見沢駐屯地第 1 2 施設群にもご協力をいただきます。

7 月 25 日でエントリーを締め切りましたが、120 km コースが参加希望者が 502 名、60 km コースが 214 名の参加状況ということで、それぞれ定員をオーバーしている状況でございます。

南空知の豊かな自然景観と魅力的なグルメを堪能できるサイクリングイベントとして、満足していただけるイベントとなるよう取り組んでいるところでございます。

以上でございます。

質疑応答

(HBC)

定員をオーバーしているということなんですが、これはそのまま受け付ける形なんですか。

(市長)

既に定員オーバーして受付をしております。定員が確か 500 人と 200 人で、若干増えてはいますが、500 のところが 502 名、200 のところが 214 名ですので希望された申込みのあった全員に参加いただくことにしております。

(HBC)

各エイドというのは今回どれくらい設けられるのでしょうか。あと目玉となるような特産品は。

(経済部長)

メインエイドは月形と美唄、それとキタオンにはゴールおもてなしがメインとなります。

(市長)

例えば美唄ですと、エイドステーション 4 か所設けることとなっております、出すものは焼き鳥、ハスカップゼリー、焼きそば、米粉ザンギ等々を予定しております。月形はジンギスカン丼、トマトジェラート、ジャガイモバター、トマトジュース等々で同じく 4 か所予定しております。岩見沢はスタート・ゴールになりますのでキタオンの下のステージの前にテントを出して、岩見沢のキジ麺と野菜スープ、栗山からはクロquette、塩ザンギ、長沼からはジンギスカンうどん、由仁町からは、お菓子、スイ

カ、とうもろこし、プラム、それから熊本応援ブースを設けてそこでも提供する予定としております。

4 その他について（記者からの質問）

質疑応答

（HBC）

来月の記者懇は何日頃予定しているでしょうか。市長が記者懇は今回で最後なのか来月あるのかということなので。

（市長）

来月の記者懇の日程はまだ決まっています。記者懇はやる方向で考えております。28日が告示日ですのでその前にやるということです。

（注）記録の内容については、重複した言葉遣いや、明らかな言い直しがあったものなどを整理した上で作成しています。（作成：岩見沢市秘書課広報係）